11月10日　の海外相場

COMEX/NYMEX ($)	Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)	
Open	4,074.3		51.610		1,536.5		1,029.0	
High	4,157.7		53.580		1,583.4		1,045.5	
Low	4,062.5		51.415		1,531.4		1,017.0	
Settlement	4,114.5		52.693		1,561.7		1,021.5	
Change	39.6		0.751		24.8		4.4	
EFP	7.00	8.00	- ¢ 2.00	¢ 2.00	-1.00	1.00	-6.00	-3.00

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing ($)	AM	PM
Gold	4,073.70	4,050.90
Silver	52.285	-
Platinum	1,554.80	1,553.10
Palladium	1,039.40	1,037.25

コメント

Precious Metal
金：下落　銀：下落　プラチナ：下落　パラジウム：横ばい
貴金属市場はパラジウムを除き下落。 10月米CPIが市場予想を上回り、インフレ圧力の根強さが改めて意識された。加えて、ウォラーFRB理事が12月FOMCでの25bp利上げを支持し、インフレ次第では50bpの利上げも検討すべきとの見解を示すなど、FRB高官からタカ派的な発言が相次いだことで追加利上げ観測が強まった。これを受けて米国債は短期から長期まで幅広く売られ、米10年債利回りは一時5%を上回ったほか、ドル指数も上昇。金利上昇とドル高が重石となり、金・銀・プラチナは下落した。一方、パラジウムは相対的に底堅く推移した。地政学面では米国とイランの交渉進展期待が継続し、原油価格も下落基調を維持しており、安全資産需要の後退も貴金属全体の上値を抑える要因となった。

FX
ドル円：上昇　ユーロドル：下落
為替市場では、予想を上回る米CPIとFRB高官のタカ派発言を受けてドル買いが優勢となった。12月の追加利上げ観測が強まり、米国債が幅広い年限で売られて利回りが上昇すると、ドル指数も上昇。ドル円は200日移動平均線を上抜け、一時158.85円まで上昇した。ユーロドルは米金利上昇とドル高を背景に一時1.1146ドルまで下落したものの、ECB当局者から12月利上げを示唆する発言もあり、その後は下げ渋った。原油価格は地政学リスクの後退を背景に続落したが、この日はインフレ指標とFRBの政策見通しが為替市場の主要なドライバーとなった。

ドル円：158.75　ユーロドル：1.1164

11月9日　　週の経済指標一覧

	11/09（月）	11/10（火）	11/11（水）	11/12（木）	11/13（金）
Americas		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [前月比]	アメリカ休場		米・中古住宅販売件数 10月 [中古住宅販売件数]
		前 0.6% 予 0.3%			前 399万件 予 387万件
		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [前年比]			
		前 3.7% 予 -			
		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [食品・エネルギー除くコア・前月比]			
		前 0.3% 予 0.2%			
		米・消費者物価指数（CPI） 10月 [食品・エネルギー除くコア・前年比]			
		前 2.6% 予 -			
APAC					
EMEA				英国・実質ＧＤＰ（速報値） 第3四半期 [前期比]	
				前 0.5% 予 0.7%	
				英国・実質ＧＤＰ（速報値） 第3四半期 [前年比]	
				前 1.4% 予 -	

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉

2026/11/3	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	26.5	306.8	1,740.2	1,390.2
Short	6.8	145.7	1,283.2	2,539.7
Net	19.7	161.2	457.1	-1,149.5
Change	-1.2	-7.9	-130.2	-232.7

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。
当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。